成果の説明書

(氏名)　鶴田禎人	(学部)　経済学部

1　重要事項

○　研究活動

・　日本の自治体が包括的な支援体制の構築において、どのようにデジタル化に取り組んでいるかについて研究を推進した。その成果を、「包括的な支援体制の構築におけるデジタル化の取り組みについて」『高崎経済大学論集』67(1・2)において発表した。

・　社会保障のデジタル化が進むイギリスの現状や課題に関する研究を推進し、その成果を、「イギリスにおけるユニバーサル・クレジットのデジタル化」としてまとめた。2025年度に所属学会誌において掲載予定である。

○　教育活動

・　講義（社会保障原理、社会保障制度論、社会政策）では、オンラインを通じて講義内容に関する小レポートを課した。また、その内容について学生と質疑応答を行い、授業内容に関する関心や学ぶ姿勢を涵養することに努めた。

・　外書購読の科目（Readings on Economics and Management)においては、OECD, Society at a glance や BBC ニュースの翻訳、討論を行い、国際経済や社会の比較に関心のある学生を対象に、リーディング技術や社会問題に関する理解の向上を図った。

・　演習では、2 年次の基礎演習を担当し、書籍の輪読やニュース記事に関する発表等を通じて、社会政策や社会問題に対する理解・関心の向上に取り組んだ。

2　その他の事項

3　次年度以降の計画・抱負

・　研究活動においては、イギリスの社会保障のデジタル化に関して、その利用を支援する機関や団体の実践や課題等について研究を始めており、学会での発表を行うとともに、論文として成果をまとめたい。また、引き続き科研費の取得や講演等を通じた社会貢献にも取り組みたい。

・　教育活動においては、3 年次を対象にした演習が開始される。そこでは、学生のグループ研究に取り組み、学生の希望に沿った調査活動を行っていきたい。また、講義科目では、引き続きオンラインを使ったアクティブラーニングの取り組みを推進していきたい。